

## 第7回教育研究評議会記録

日 時 平成24年10月17日(水) 13:30~15:00

場 所 柏原キャンパス事務局棟 大会議室

出席者 長尾, 栗林, 若井, 越桐, 成山, 野田, 横井, 石田, 高橋, 田中, 向井, 小山, 入口, 久田, 辻岡, 土井, 横山, 大脇, 林(19名)

陪席者 野口監事

傍聴者 石橋紀俊准教授

開会に先立ち、長尾学長から平成24年度第6回教育研究評議会の記録確認がなされた。引き続き、議事の進め方については開催通知の順番に進める旨の発言がなされ、傍聴申請があった1名に対して議題(1)及び(2)以外の傍聴が認められた。

議題(1) 平成25年度教員人事について

長尾学長から前回の教育研究評議会で当議題が取り下げられた経緯の説明がなされたのち、資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

議題(2) 平成25年度教員採用計画について

長尾学長から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

### 【質疑応答】

・助教が任期付きの採用となっているのはなぜかとの質疑に対して、本学の規程上、助教は任期付きとなっているとの答弁が長尾学長よりなされた。

・法律の改正により助教も授業を行えるようになったが、授業担当教員の身分が不安定なのは望ましくないのではないかと質疑に対して、今回の配置計画に当っては当面授業を担当しないとしているとの答弁が長尾学長よりなされた。

議題(3) 名誉教授の称号授与について

長尾学長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

議題(4) 平成25年度学年暦について

野田副学長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

報告事項(1) 第35回人権教育全学シンポジウム開催に伴う休講措置について

野田副学長から資料に基づき報告がなされた。

報告事項(2) 京阪奈三教育大学双方向遠隔授業実施委員会設置要項について

長尾学長から資料に基づき報告がなされた。

報告事項(3) その他

1) ミッションの再定義について

長尾学長から資料に基づき報告がなされた。

### 【質疑応答等】

・本学の教養学科は新課程ではなく学科であるということを強調して欲しい。また、教員養成の需要予測について、うまく文章にまとめて欲しいとの意見があった。

・文部科学省との折衝を行う上で、エビデンスベースの資料が必要であり、データの提供等要請させ

ていただくことも想定されるので、その際は協力いただきたい。また、資料に挙げたデータ以外にも有用なデータがあれば提供いただきたいとの発言が若井理事・事務局長よりなされた。

・部局でデータを収集する必要もあるかと思うが、いつまでにデータを集めればよいのか。日程を教えて欲しいとの質疑に対して、基礎的なデータについては資料に記載されている文部科学省への提出期限を目処に集め、その後、データの追加、補足については適宜判断するとの答弁が長尾学長よりなされた。

・ミッションの再定義について、大学の特色ということが書かれているが、これは本来中期目標・中期計画と絡むはずではないのか、今年度中にミッションを協議して定めるということになった場合、中期目標・中期計画を修正することになるのかとの質疑に対して、基本的には第二期の中期目標・中期計画に沿って進め、ミッションの再定義は第三期に活かしていくものであると考えられるとの答弁が長尾学長及び若井理事・事務局長よりなされた。

・資料を見ると、中期目標・中期計画について第二期のものを変更可能だと記載されており、第三期からではなく、第二期から実施される可能性もあるのではないかと質疑に対して、その可能性はあり得るが現段階では分からないとの答弁が長尾学長よりなされた。

・資料に教員養成の課題が例記されているが、この課題も含め、ミッションの再定義はどのような拘束力があるのかとの質疑に対して、現段階では分からない。今後の推移によるとの答弁が長尾学長よりなされた。

・教育学部のミッションの再定義について、総合大学、単科大学の区別なく各大学が各々の特色を盛り込んだミッションを策定するのか、それとも文部科学省が単科の教員養成の特色はこうだというように一律に定義して策定するのかとの質疑に対して、現段階では分からないとの答弁が長尾学長よりなされた。

以 上